**フィギュア競技に関する連絡事項**

１　競技日程について

　　　競技会場掲示板に掲示します。

２　競技に関する事項について

　（１）競技について

　　　　●　競技は、第70回全国高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会要項にもとづき

行います。

* 男女予選の1グループは最大6人とします。
* 練習時間は6分間とします。

　（２）音源（CD）の提出と返却について

　　　　●　ショートプログラムの音源を20日（水）11:30～16:00リンク受付に提出して下さい。

忘れた方は、それぞれ公式練習前までにリンク内音楽係まで提出して下さい。

* 男女の決勝進出者は予選終了後、音源を受付に提出して下さい。（女子は予選Cを終えた時点で

結果が出ます）

* 返却は、演技終了後リンクで本人にお渡しします。係が届けますのでお待ちください。

　（３）ジャッジズ・ディテールの詳細リストについて

　　　　●　今大会は配布いたしません。

　（４）フリー競技の抽選について

　　　　●　予選結果のリバースで滑走順、グループが決まりますので行いません。

　（５）女子予選予C自由練習、公式練習および決勝用練習について

　　　　●　女子予選Cの自由練習は予選公式練習と同じグループでそれぞれ20分間実施いたします。但し、曲はかけません。（任意参加です）

* 公式練習は、各グループ20分間の練習とします。人数は最大8人で、予選グループとは異なります。人数が多いので滑走には十分注意して下さい。音楽は練習開始6分後から滑走順に一人1分20秒間ずつおかけします。
* 女子A組決勝用練習は予選A組の得点上位者10名が対象です。また、女子AB組決勝用練習は、

予選A・B組を合わせた得点上位者18名が対象です。いずれも音楽無しで行います。もし、対象とならなかった選手が決勝に進出した場合は、恐れ入りますが練習時間を設けることができませんので、あらかじめご了承ください。対象者は予選Aの競技終了後、予選Bの競技終了後に掲示いたします。

３　開始式・表彰式について

　（１）開始式について

* 開始式は21日（木）女子予選A組の競技開始前に時間を短縮、簡素化して行います。

その方法次第については後日公表いたします。なお、大幅な変更も想定されますのでご了承下さい。

　（２）表彰式について

* 男女別総合（学校対抗）の表彰は、1位～6位までです。1位には優勝杯と賞状、2位~6位

までは賞状の授与を行います。

* 男女別個人の表彰は、1位～3位までです。1位~3位までに賞状・メダルの授与を行います。

（ジャージ・スケート靴を着用し、リンクサイドで待機しておいてください）

* 感染症予防対策、時間短縮のため表彰式でのパフォーマンス・握手・抱擁は控えてください。

　（３）エキジビションについて

　　　　●　今年度は実施いたしません。

４　競技運営ならびに会場に関する事項について

　（１）会場について

　　　　●　更衣室の使用については、密集しないよう、特に長時間の使用は禁止いたします。

　　　　●　その他、会場の表示に従い行動して下さい。

　（２）競技結果について

　　　　●　滑走順、競技結果については、大会ホームページ及び会場掲示板、日本スケート連盟のHPで

ご確認ください。（各校への配布はいたしません。オフィシャルのサイン後にアップしますので

必要なものはホームページからダウンロードして下さい。）

　（３）写真撮影について

　　　　●　指定された撮影エリアのみでお願いいたします。女子C組自由練習、公式練習、女子決勝用練習の撮影はできません。（フラッシュ撮影は禁止です）

５　その他

　（１）輸送について

　　　　●　計画輸送は行いません。

　（２）救護について

　　　　●　大会要項にもとづき対応します。

　（３）選手の取材について

　　　　●　各報道機関から取材要請がありましたらご協力下さい。演技後は報道係の誘導で、ミックスゾーンで取材を受けて下さい。

　（４）引率責任者への確認

　　　　●　「引率責任者は選手のすべての行動に責任を負うものとする。」となっております。

　　　　　　 選手の健康管理はもとよりトラブル等が起こりませぬよう、各選手の行動を把握しご指導下さい。特に、ホテルでのマナー、不要不急の外出を控える、感染症対策の徹底等をお願いいたします。

　（５）応援バナーについて

　　　　●　選手個人の応援バナーの掲示は禁止します。（学校名が入っている物は許可する）

　（６）分担金の納入について

　　　　●　リンク受付において常時受け付けます。学校単位で参加選手1名につき500円を納入して下さい。

　　　　　　全国高体連スケート専門部委員が対応いたします。

　（７）感染症対策

　　　　●　日本スケート連盟から、参加者の感染症対策の徹底を条件に開催の協力を得ております。

　　　　　　感染症対策を怠る場面があった場合、競技会を中止せざるを得なくなります。選手・引率責任者・

　　　　　　インストラクターは緊張感を常にもち、マスクの常時着用・三密の回避を図り感染者を出さない

　　　　　　皆様の努力をお願いいたします。